

せいきょう連ニュース

CO-OP 岡山県生活協同組合連合会 TEL : 086-230-1315 HP : <http://okayama.kenren-coop.jp/>

生活困窮者支援等の地域活動のために

新型コロナウイルス感染拡大で、子どもやその家族を巡る生活課題が長期化し、貧困や格差の問題は子どもへの連鎖も含めてより深刻となっています。岡山県生活協同組合連合会ならびに岡山県協同組合連絡協議会※では、コロナ禍で支援を必要としている方や子ども達への支援をさせていただくこととしました。

岡山県社会福祉協議会へ寄付

2月2日（水）オルガ（岡山市）にて、地域福祉活動の支援金として、県社協へ100万円を贈呈しました。贈呈式では、県生協連 平田昌三会長理事から県社協 足羽憲治会長へ目録が手渡され、「困っている人がますます困っている状況です。これから社会を支える人たちの役に立てていただきたい。生協と社協が、これからも同じ気持ちをもって協力し合い、地域の中で役立っていききたいと思います」とあいさつしました。

県社協の足羽会長より、「新型コロナウイルスにより失業や孤独・孤立した方、制度のはざまにある方々の支援活動に活かし、市町村社協や福祉関係者と連携して、地域福祉活動を推進していきたい。県生協連とは、今まで以上の協力関係を築いていきたいです。」とごあいさついただきました。



県生協連の平田会長理事（左）から県社協の足羽会長（右）へ目録贈呈



県社協から感謝状をいただきました。（左から）岡山県生協連 和田副会長理事、福井副会長理事、平田会長理事、岡山県社協 足羽会長、小川常務理事、岡次長

協同組合が連携し、フードバンク岡山に食料品を寄付

2月14日（月）岡山県農業会館（岡山市）にて贈呈式が行われ、岡山県協同組合連絡協議会の各組合代表から同バンク糸山智栄理事長に、岡山県産米や海苔、干し椎茸、レトルトカレーや菓子などを贈呈しました。

フードバンク岡山は、企業や個人から無償で受け取った食品を、県内の児童養護施設や子ども食堂に配る活動を続けています。コロナ禍で必要としている人は増えており、要望に応じて準備された贈呈品は、県内の子ども食堂を通じて、生活が困窮している家庭や子ども達に届けられます。

同バンク 糸山理事長より、「今回の支援で、コロナ禍の状況を知っていただけるとうれしい。地元でつくったものを地元の人が食べて、顔が見れるかもしれないという距離感で、人を支えるというのが一番いいなと思います。」とごあいさつがありました。



県生協連の平田会長理事（左）からフードバンク岡山の糸山理事長（右）へ贈呈



（左から）岡山県漁連 井本会長、岡山県農協中央会 青江会長、フードバンク岡山 糸山理事長、岡山県生協連 平田会長理事、岡山県森連 池田専務。（写真撮影時のみ、マスクを外しています）

県生協連からは、子どもたちに人気のロングセラー商品を贈呈。

- ・「ビーフカレー」甘口 及び 中辛 5個パック（各100袋）
- ・「ミックスキャロット」ジュース12個入（100ケース）
- ・「びよっちサブレ」及び チョコ菓子「チョコ坊たち」（各100個）

これからも、誰もが安心して暮らし続けられる地域社会の実現に向けて、地域のみなさまと連携しながら取り組んでまいります。

※岡山県協同組合連絡協議会は、1996年7月設立以降、相互扶助の精神で、協同組合運動の普及・推進を図り、協同組合の理解促進を図る活動を展開するとともに、SDGsの目標達成を目指した取り組みも進めています。（構成団体：岡山県農業協同組合中央会、岡山県漁業協同組合連合会、岡山県森林組合連合会、岡山県生活協同組合連合会）

岡山県副知事との懇談および県行政との定期懇談会を開催

生協への理解を広め、ともに地域のために取り組めるよう、感染防止対策を実施して小谷副知事との懇談、県行政との懇談会を行いました。生協の社会的取り組みやコロナ禍での状況を説明し、県からはコロナ対応への謝意や消費者基本計画の概要説明、要望書回答をいただき、県民のために何ができるか、一緒に考える機会となりました。

岡山県小谷副知事との懇談

10月27日(水) 県庁 第2会議室

岡山県から、小谷敦 副知事、くらし安全安心課 古好課長、松田総括参事、藤原副参事に出席いただき、県生協連から会長理事、副会長理事 2 名、専務理事、事務局の計 5 名が出席して懇談しました。

生協の概況、コロナ禍の事業活動状況、日本の生協の 2030 年ビジョンや生協の社会的取り組み、会員生協の活動紹介などを報告し交流しました。副知事より、コロナ対応に際し医療従事者のみなさん及びくらしを支え、ワクチン接種できない方へ細かな対応を行っている生協に謝意が述べられました。また、コロナは社会的な分断を生み、生活困窮者や高齢者、学生など不安を抱え孤独を感じている方が増えており、安心感につながるようすすめたいことや、生協はいろいろな場面でくらしに役立つよう変化していることに関心が寄せられました。生協は助け合いの組織として社協とも協力しながら社会的弱者に対応していきたいこと、県と手を取り合って県民の役に立つ活動を進めたいことを伝えました。



中央が小谷副知事

岡山県行政との定期懇談会

10月27日(水) 日本赤十字社岡山県支部会議室

県生協連からは会長理事はじめ 8 名出席し、第 1 部として、県からくらし安全安心課 古好課長、松田総括参事、藤原副参事に出席いただき定期懇談会を行いました。

県より第 4 次岡山県消費生活基本計画を策定、消費者被害防止やライフステージに応じた消費者教育の実施、成年年齢引き下げに向け若年者への消費者教育推進の重点施策の報告がありました。生協ができることとして地域の見守りや大学生への啓発活動、エシカル消費の推進を説明し、幅広く県民の声を集めることや消費者が主役となる取り組みを進める際に生協を活用いただきたい旨、意見交換を行いました。

第 2 部は、「県への要望書」への回答及び質疑、意見交換を行うため、回答関連部署より計 13 名出席いただきました。

コロナ感染症対応として大学生の経済的・メンタルヘルス状況や包括的なフォローの必要性、医療現場の状況や検診期間延長による受診機会の確保について補足説明し、フードバンクは食品ロス削減だけでなく共助に加え公助の視点で連携いただきたいことを伝えました。医療生協に対し、コロナ対応への謝意と空床確保補助金の見通しなど国と調整していくこと、県の啓発実施などの意見交換がありました。



第34回岡山県消費者大会を開催

主催：岡山県消費者団体連絡協議会

10月26日（火）、第34回岡山県消費者大会が「見つめ直そう！私たちの暮らしを、社会を～コロナ禍を経て考えたいこと～」をテーマに、オルガホールをメイン会場に、14 サテライト会場、およびYouTube ライブ視聴のハイブリッド形式で開催され、17 団体より約 130 人が参加。

記念講演では、「新型コロナ禍で 生活困窮・貧困の現場で起きていること」と題し、NPO 法人ほっとプラス理事の藤田孝典さんに講演していただきました。

「生存のためのコロナ対策ネットワーク」の活動で、相談者の多くが労働問題に起因した生活困窮であること、女性相談の多さが顕著で特に若年層が多いこと、外国人労働者も含めすべての人が安全に暮らせる社会をつくるために今重要な局面であることが報告されました。男女間の賃金格差やひとり親世帯、高齢者の貧困の実態は深刻で格差はさらに広がり、日本社会を変えていくため、現場の声を制度・政策に反映していくことが求められていること、SNS を駆使しない運動は広がらないこと、とにかくすべきことを臨機応変にすすめることが大切といったお話があり、「一人ひとりが声を上げる運動が大きくなることで社会情勢を変える力になる」などの感想が寄せられました。

団体報告では、**岡山医療生協**より「なんでも相談の取り組み」紹介があり、一人ひとりに寄り添い、必要な社会保障を地域の声から考え、地域とともに取り組みたいとの報告がありました。**新日本婦人の会岡山県本部**は「平和とジェンダー平等を求めて」をテーマに、子どものいのちと学び・発達を守るため、学校に生理用品を無料で常備する申入れを行い実現できたことなどが紹介されました。**こくみん共済 coop**は「地域貢献活動報告」としてスマホやVRを使った防災・減災活動の取り組み事例などの紹介がありました。3 団体の活動報告には、コロナに負けずさまざまな活動に取り組まれていることを知り自らの活動の元気につながったという声が多数寄せられました。

最後に、第 34 回岡山県消費者大会宣言が、拍手で採択されました。



NPO 消費者ネットおかやまの取り組み

18 歳成年年齢引き下げ、目前！！
県立岡山南高等学校で若者の消費者被害防止ショート動画を作成♪



消費者ネットおかやまでは、2020 年から岡山南高校と一緒に、高校生の意識を高める活動を行ってきました。今回、生活創造科 3 年生の生徒さんが「消費生活」科目授業の中で、「お試しが実は定期購入」「マルチ商法」など若者に多い消費者被害の実例をテーマに、30 秒動画を 4 つ作ってくれました。岡山市のデジタルサイネージでも公開されます。ぜひご覧ください♪ 福武教育文化財団助成事業

消費者ネットおかやま

検索

岡山医療生協

創立70周年記念ロゴマーク決定

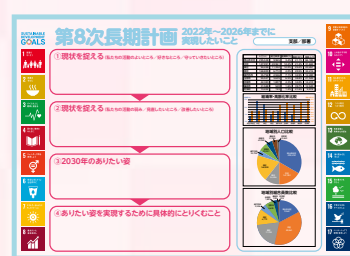
岡山医療生協は2022年に創立70周年を迎えます。記念ロゴマークの募集を行ったところ、42作品の応募がありました。事務局で10作品を選定し、紙面・ホームページで投票をした結果、145票を獲得した作品がロゴマークに決定しました。

このロゴマークは岡山医療生協の理念を基に人や動物、植物など生命のあるすべてがみんなで楽しむ様子を形にしています。作者は「虹から羽ばたく鳩、成長していく若葉、躍動する人々をエンブレム風にまとめ、理念や想いという抽象的なものを形にした」と語っていました。



想いとどけ、この未来も

『岡山医療生協2030年ビジョン』の実現に向け、2022年から2026年までの5か年にあたる第8次長期計画を策定中です。各支部の組合員さんや、職員がそれぞれ『2022年から2026年までに実現したいこと』を思い思いに出し合い、みんなで実現したいことを形にしていきます。



6月に開催される総代会での承認を目指しています。

岡山県学校生協

教育支援事業として、出前授業『南極クラス』を開催しました

各学校、ミサワホームグループ、国立極地研究所のご協力をいただき、子どもたちに夢と希望を届ける『南極クラス』を、2021年は、新型コロナウイルスの感染状況が比較的落ち着いていた10月～12月に、富小学校、新田中学校、西方小学校、池田小学校、真庭市立落合小学校、東郷小学校で開催しました。

今後も、南極観測の意義や自然環境を守る大切さなどを学習できる『南極クラス』を教育支援事業として引き続き推進してまいります。



津山医療生協

公共交通機関の利便性調査を実施

2021年11月から2022年1月にかけて、全3支部が各2コースを設定し、公共交通を利用して津山市内のスーパーや病院を利用してみる取り組みを行いました。コースによっては、最寄りのバス停まで徒歩で30分はかかるようなコースもあるなど、思った以上に不便な状況が明らかとなりました。バス乗り場の状況や乗り継ぎなど、車に乗れなくなった場合に生活していくことを考えると不安が大きい結果でした。これらの結果を基に市と話し合いを持つことを計画しています。



三井造船生協

三井生協荘内店リニューアルオープン

1月27日、三井生協荘内店がリニューアルオープンしました。

寒さ厳しい中、たくさんの組合員様にご来店いただきました。地域密着型の店舗として、便利にお買い物していただけるよう、コープ商品、冷凍食品売場を拡充し、品揃え強化いたしました。

今後も地域の皆様から愛されるお店づくりに邁進していく所存です。



こくみん共済 coop 岡山推進本部（岡山県労済生協）

「7才の交通安全プロジェクト」横断旗寄贈のご報告

こくみん共済 coopでは、2019年より「7才の交通安全プロジェクト」という、マイカー共済のお見積もり1件につき横断旗1本を寄贈するという取り組みを実施しています。

2020年度（2020年6月1日～2021年5月31日）もこの取り組みを継続して行い、多くのお見積りをいただきました。そこで、協力団体の皆様のご協力を「地元・地域に還元したい」という思いから、「こくみん共済 coop各地区推進会議単位」において、寄贈を行いました。

横断旗寄贈先

倉敷市に 700 本
総社市内の小学校・幼稚園・
子ども園に 131 本
井原市に 100 本
新見市教育委員会に 100 本



（左）生水 哲男 様（倉敷市 副市長）



（左）大舌 勲 様（井原市長）

倉敷医療生協

核兵器禁止条約発効1周年の行動

「核兵器禁止条約」が発効して2022年1月21日で1年が経過しました。すでに86カ国が署名して、59カ国で批准されています。発効1周年にあたり、日本政府に1日も早い署名・批准を求めるスタンディング行動を、様々な人々と一緒に水島・児島・玉島・倉敷・高梁・新見など各地のまちかどで取り組みました。



水島協同病院前でのスタンディング行動

おかやまコープ

年末に“あたたかい気持ち”と商品お届け

12月21日、西日本豪雨の被災者がお住まいの倉敷市の建設型仮設住宅3箇所を訪問し「あたたまるコープ商品」をお届けしました。おかやまコープ職員と倉敷エリアの組合員が倉敷市社会福祉協議会と協同で一軒ずつ訪問し、「よいお年をお迎えください」とお声がけしながら商品を手渡しました。商品をお渡しすると笑顔で受け取ってくださり、「毎年ありがとう」「お餅がとてうれしいです」などと喜んでくださいました。

また、コロナの感染拡大長期化により厳しい環境で生活している子ども達のために、おかやまコープの取引先でつくる「虹の会」は、岡山県下11施設の児童養護施設へ「お菓子・お米・デザート」などを贈呈しました。12月23日、児童養護施設「南野育成園」で行われた贈呈式では、子ども達からお礼のダンスが披露されるなど楽しい時間となりました。



「あたたまるコープ商品」を手渡す倉敷エリアの組合員（右）



サンタクロースに扮したおかやまコープ平田理事長（左）から子ども達にお菓子などを贈呈

瀬戸内市「プレーカー」の安全運転講習に協力

おかやまコープは包括連携協定を締結している瀬戸内市から、「こどもひろば事業で実施する移動遊び場プレーカーの運転者を対象に、生協さんの運転講習を実施していただきたい」との要請があり、おかやまコープ宅配職員を講師とした安全運転講習会が開催されました。

11月9日、瀬戸内市保健福祉センターゆめトピアで行われた講習会には同市こども政策課など職員18名が参加。「安全運転と防衛運転の違い、輪止めの重要性、車両の死角などが理解できた」と好評で、瀬戸内市では、プレーカー運転者は必ず安全運転講習会参加者とする、プレーカー駐車時に輪止めを実施することなど講習内容を今後活かしていくことが確認されました。



トラックの死角について実際に確認し合う参加者

就実生協

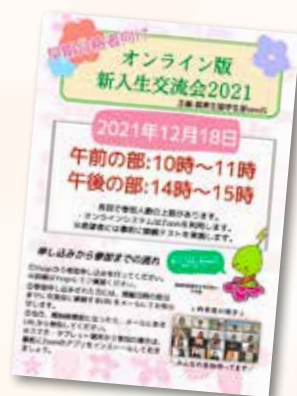
早期合格者向け オンライン版 新入生交流会

12月上旬までに合格となる推薦入試などの早期合格者を対象に、オンラインでの新入生交流会を12月18日に実施しました。

昨年度実施した企画をもとに、大学1年生が中心となり準備を進めました。コロナ禍ということもあり、企画準備についてもすべてオンラインで行いました。

当日は、Zoomのブレイクアウト機能を活用して、できる限り小人数のグループになることで、オンラインであっても元気に活発に交流ができるように運営の工夫を行いました。

今回は、開催のお知らせを十分に周知することが難しく参加者は少ない状況でしたが、コロナの影響が続く中、これからも創意工夫して就実生の学生生活を応援していきたいと思ひます。



岡山大学生協

住まい探し準備説明会・入学準備説明会の対応

岡山大学生協では例年、初めての一人暮らしを予定している受験生・新入生の「お部屋探し」の対応をしていますが、どの時期からどのような方法でお部屋探しをすれば良いのか、合格前予約はいつから申し込みができるのかなど様々なお問い合わせを受けています。そういった疑問や不安に応えるために受験前のこの時期に「Web版住まい探し準備説明会」を1月までに4回開催し、約150組の受験生に参加いただきました。

また推薦入学などで既に入学が決まっている自宅生と保護者を対象に自宅生向けの「入学準備説明会」も開催しています。1月の初回は「新型コロナウイルス感染症」の影響もあり人数制限を設けながらも対面で開催できました。2月以降は当面オンラインでの開催予定となってしまいましたが、対面でもオンラインでも、一人ひとりの新入生が4月からの大学生活をスムーズにスタートできるように、精一杯サポートしていきたいと考えています。



住まい探し準備説明会



入学準備説明会

グリーンコープ生協おかやま

添加物学習会を開催しました

11月26日（金）「知って選ぼう！楽しく学ぼう！食品添加物のウソホント第2弾！」を開催しました。第1弾・夏休みの大人＆子ども対象企画は申込者多数で抽選に。そのため急遽2回目を企画。添加物によって味覚が変わることを実験で体験し、食品表示、遺伝子組み換え、ゲノム編集など「知る・選択する」ことの大切さを学びました。



フードドライブに取り組みました



7月に続き今年度2回目となる「フードドライブ」の取り組みを行いました。今回から不織布マスクの提供も呼びかけました。自宅で眠っているものを「ありがとう」に変えたい。集まった品は、組合員が仕分けをして、想いと共に岡山市家計改善事業をはじめ福祉団体へお届けし、必要とされている方にお渡ししています。

9,193人が健康づくりのきっかけとして、ヘルスチャレンジに取り組みました



ヘルスチャレンジ2021は、生活習慣を見直すことで健康寿命の延伸や健康づくりのきっかけとすることを目的に、「運動」「食事」「お口」を中心とした5つのチャレンジコースから自分に合ったコースを1つ選び、30日間チャレンジする取り組みで、岡山県「健康おかやま21」協賛事業、CO・OP 共済健康づくり支援企画として実施しました。

コロナ禍で自粛生活中でもできる健康づくりとして幅広い世代から、9,193人が参加し、新しい参加者は2,602人でした。

今年度は新たにキッズコースを設定し、子どもが取り組みやすい工夫をした結果、小学校や中学校、保育園からも多くの参加があり、学校での取り組みが広がっています。



参加者の声

<地域からの感想>

- ・カルシウム不足を気にしているので、ちりめんじゃこなどを朝食に入れてしっかり食べました。
- ・このチャレンジで歯間ブラシを使うようになり、歯ブラシで取れない汚れがとれてスッキリです。
- ・体重を毎日測って記入しました。目に見えたと、ごはんも軽めに食べられるようになりました。
- ・お兄ちゃんといっしょに早寝早起きをがんばりました。

<小学校・中学校からの感想>

- ・レベルをあげて取り組める生徒も増えてきています。教職員もウォーキングを始めました。

2021年度 消費者月間講演会

成年年齢引き下げで何が変わるの？ ～若者の消費者被害防止のためにできること～



講師 **坂東 俊矢 氏**

京都産業大学大学院法学研究科教授、弁護士、
特定適格消費者団体 消費者支援機構関西 常任理事

参加方法（無料）

日時 **2022年3月26日（土）13:30～15:30（終了予定）**

会場 **オルガホール（岡山市北区奉還町1-7-7 オルガビル地下1階）**

方法① **会場参加**

先着50名。感染防止対策にご協力ください。（託児なし）

方法② **オンライン参加**

YouTube ライブを視聴。見逃し配信を予定しています。

申込メチ **2022年3月11日（金）**

お申し込みは、**こちらから** → → → <https://forms.gle/aUUs376dLyA6j7Pw7>

お寄せいただいた個人情報は厳重に管理し、目的以外には使用いたしません。

- 参加方法①、方法②、どちらの場合もお申込みください。
- オンライン参加の方には、YouTube 視聴 URL をメールでお送りします。
- 新型コロナウイルス感染拡大の状況により、中止になる場合があります。



主催：適格消費者団体 消費者ネットおかやま、岡山県消費者団体連絡協議会 後援：岡山県・岡山市